

国見公民館だより

福井市鮎川町 133-1-3 TEL/FAX 88-2004 E-mail: kunimi-k@mx1.fctv.ne.jp

令和6年11月22日発行 第41号 (令和6年度第9号)

❖ 歩こう会

10月20日(日)午前、実年会(会長:松本貞雄さん(大丹生町))主催の「歩こう会」が開催され、25名の参加者が国見町方面でのウォーキングを楽しんだ。公民館での出発式の後、国見町常森までバスで移動し、加茂神社(常森区)、住吉神社(長尾区)、国見神社(中垣内区)、天照皇太神社(長原区)、日宮神社(同区)と国見町内の5カ所の神社を巡り、それぞれの由来等を勉強した。途中の国見町集落センターにて休憩し、参加者同士の情報交換をしながら、のんびりと歩き、ホテル割烹石丸での昼食会で会を締めくくった。他町内の神社をじっくりと見学することは貴重な機会であり、参加者からは「来年からも他町内の神社巡りが良いのでは」という感想も出されていた。



❖ 地区自主防災、男女共同参画 合同研修会

11月10日(日)午前、自主防災・男女共同参画合同研修会が開催され、地区防災組織連絡協議会の構成員や炊出しボランティア等約25名が参加した。この研修会は同協議会が主催し、地区自治会連会、地区男女共同参画推進員、公民館が共催し開催したもので「能登半島地震時の国見地区での潮位変化」「被災地における自主防災組織の必要性」「防災と男女共同参画」「災害時における食品生成」の課題を研修し、新たに定めた地区防災マニュアルの「避難所炊出対応手順書」の概要説明を受けた。その後、公民館の調理室にて「炊出し訓練(実技研修)」を行ない、避難所が開設された時に、男女に関わりなく炊き出しのおにぎりを調理する工程を学んだ。

1月1日の能登半島地震時の国見地区海岸での潮位変化については、一番近い観測地点である敦賀港と金沢港のデ

ータから推測し、海面変動は約50~80cm、最大潮位は午後8時頃の第5波、津波波形の繰り返しは翌日の午前4時ころまで続いたことのことであった。また、災害発生直後には行政の迅速な支援は見込むことが出来なく、地域における自主防災組織が重要だとのことであった。



今後開催予定のイベント等(対象:場所)

11月30日(土)・・・市民憲章制定60周年大会(運審員:ユーアイ福井)

12月 8日(日)・・・国見公民館第1回館長選考会(運審員:公民館)

12月13日(金)・・・寿クラブ研修会(三味線演奏会)(寿クラブ会員&地区民:鮎川会館)

問い合わせ:国見公民館 電話・メール:88-2004・kunimi-k@mx1.fctv.ne.jp

❖ 市長と語る会

10月25日(金)、福井市公民館連絡協議会と運営審議会連絡会合同の市長と語る会が開催され、市内の公民館長や運営審議委員長等約50名が参集し、国見からは松井館長が出席した。事前に準備された4つの課題「災害対応」「人口減少対策」「まちづくりビジョン」「公民館のありかた」について西行市長が市の施策や自身の考え方を解説した。公民館のありかたについては「地域ごとに細かく公民館を配置することが地域のためと考え、原則として小学校区ごとの公民館となっている。今後の学校の統廃合にかかわらず、現状の公民館配置数を変更することはない」とのことであった。また「公民館は地域の交流の拠点として最大限に活用するよう努めて欲しい」との市長から公民館長への注文も付け加えられた。



❖ 地区自治会連合会 定例区長会

11月定例区長会

<11月4日(月)>の主な議題は次のとおり。

- (1) 地区敬老会結果 参加者：85名 役員：約45名 経費 ¥234,073円
- (2) 地区自主防災組織連絡協議会 研修会：11月10日(日)午前
- (3) 銚島付近片側交互通行規制：12月末日にて解除予定
- (4) 粗大ごみ回収：11月3日(日)実施 約500kg回収
- (5) 定期総会：12月14日(土)夜 予定
- (6) 自治会業務の外部委託について
- (7) 全国自治会連合会福井県福井大会：11月13日(水)フェニックスプラザ
- (8) 令和7年度ごみカレンダー作成準備
- (9) 国見公民館世代間交流事業(学校再編と未来創造検討会) 第3回住民検討会：11月24日(日)午後2時～
- (10) 公民館長選考事務の開始：現館長の任期(2年)：令和7年3月31日まで
 - ①館長公募の実施(12月～1月予定)②選考委員会設置予定
- (11) 公民館運営審議会委員欠員補充予定(大丹生町枠)

❖ 粗大ごみ回収

11月3日(日)午前、国見地区連合会が主催する粗大ごみ回収が行なわれ、各町内から約500kgの粗大ごみが役員さん達によって公民館第2駐車場へ集められた。一般可燃物等380kgは福井坂井地区広域市町村圏事務組合清掃センター(あわら市笹岡)へ搬入し処分し、約120kgの金属ごみは専門事業者へ引き渡された。回収量は昨年度(620kg)の約6割と大きく減少したが、この事業は需要がある限り継続する必要があるとの区長さん達の意見だった。

❖ すこやか学級出前講座「健康教室」

11月6日(水)～8日(金)の間、各町内のシルバー喫茶で「健康教室」が開



催された。講師は市健康管理センターの佐々木保健師で、テーマは「フレイルを予防しよう」フレイルとは、健康な状態と要介護状態の中間を指す言葉。

佐々木保健師は、いつまでも元気であるためのポイントを次のように紹介した。

1. たんぱく質を積極的に摂取
2. 身体活動 - 今より10分多く体を動かす。ウォーキングやストレッチ等
3. 口腔ケア - 口を清潔に保ち、よく噛んで30回を目安に食べる。
4. 社会参加 - 人との交流や外出の機会を作る。
5. 趣味を持つ - 自分の楽しみを見つけて継続する。

参加者は、健康維持のための実践的なアドバイスに耳を傾け、積極的に質問をするなど、充実した時間を過ごした。



❖国見家庭・地域・学校協議会

11月1日(金)午前、国見小・中学校の「家庭・地域・学校協議会」が開催され、水上地区自治会連合会長、刀祢地区社会福祉協議会長、山本地区育成会長、荒井小学校PTA副会長、松井館長が出席した。小学校の名葉校長先生と中学校の正玄校長先生から、本年度前半の小・中学校での児童・生徒達の活動について説明を受け、子ども達は元気に活動しているとのことであった。小学校の小規模校合同授業(殿下、越廼、国見、長橋)、町探検、カヌー教室、磯観察、中学校の自衛隊出前授業、ふるさと探訪、遠泳大会、和楽器演奏会等、小中合同の避難訓練、地区体育祭、地区敬老会等の国見ならではの行事があり、地域密着型の学校になっているとのことであった。



保育園&小学校&中学校 マラソン大会

11月1日(金)午前、国見小・中学校のマラソン大会が開催され、晴天に恵まれた日本海を背景に、鮎川町内やブルーシー鮎川沿いのそれぞれのコースにて園児、児童および生徒達が健脚を競った。今年から、小学校と中学校の開催日を統一し、緑ヶ丘保育園児も参加することになり、にぎやかな大会になった。コース沿いには、保護者、地区民を含めて約100名が応援に駆け付け、大きな声援を送っていた。



❖すこやか学級出前講座「防犯教室」



10月23日(水)、24日(木)、11月1日(金)、各自治会集落センターのシルバー喫茶で「防犯教室」が開かれ、鮎川駐在所の木下和則氏が講師を務め、年々増え続ける特殊詐欺について講話を行った。木下氏は、増加するロマンス詐欺や投資詐欺の手口を説明し、最初に相手を信じてしまうと、詐欺だと気づかないケースが多いと説明。詐欺だと気づかないまま大きな被害に繋がると警告した。手品を交えた和やか雰囲気ながら、時折強い口調で警戒を呼びかけた。

❖ 秋の海岸特別監視

11月10日(日)午後、福井市沿岸警備協力隊国見支隊の隊員15名が参加し、国見地区の海岸の不法侵入者や不審漂着物監視を行い、併せて大丹生町の海岸のゴミ拾いを行った。不審者や不審漂着物等は発見されなかったが、大丹生町の海水浴場付近にて漂着ゴミを収集し、ゴミ袋約50個分以上を集めた。回収ゴミは市環境政策課に処分をお願いした。



❖ 大丹生町文化祭

10月27日(日)、大丹生町集落センターで「大丹生町文化祭」が開催された。版画、書、押し花、手芸など多彩な力作が展示され、訪れた人々を楽しませた。特に、昭和20年代からの古い写真を拡大コピーし、壁一面に掲示したコーナーは好評で、来訪者たちは懐かしさと歴史に思いを馳せながら、歓談を楽しんでいた。



❖ 全国自治会連合会福井県福井大会

11月13日(水)午後、フェニックスプラザ大ホールにて「全国自治会連合会福井県福井大

会」が開催され、国見地区内の自治会長(水上、辻岡、中野、小林(会長代理)さん)と公民館長が出席した。この大会は全国の自治会や町内会の仲間が、互いに抱える課題を共有し、解決に向けた研修や情報交換を進めて、安全で安心な暮らしやすい地域づくりを目指すため、連携の輪を広げることを目的として開催され、全国各地の自治会関係者約1000名(県外約500名、県内約500名)が参加した。大会では、杉本知事による福井県における自治会活動支援の状況報告や、福井市日の出地区における下校途中の小学生を対象とした防災訓練の活動報告等があった。今年は特に能登半島地震があったことから、自治会活動は防災に関わる取り組みが重要であるとの報告や意見が多く出され、国見地区での自治会活動に参考になると思われた。

❖ 公民館長候補者選考に係る説明会

福井市内のすべての公民館長が、令和7年3月31日をもって2年間の任期を満了することに伴い、10月31日(木)午後、オンライン説明会(Zoom 配信)があった。国見公民館において、水上運営審議委員長と公民館主事2名が参加した。今後、12月中旬までに第1回目の選考委員会を開催し選考



方法や選考日程等を決定したうえで、令和7年2月末頃までに館長候補者を決定する必要があるとの説明があった。国見地区においては、運営審議会が選考委員会を設置し対応することになっていて、12月8日(日)午後7時から、本年度第3回目の運営審議会を開催する予定である。